

書名	著者	出版社	請求記号	内容
かわうそ3きょうだいの ふゆのあさ	あべ 弘士／著	小峰書店	Iホ/A	さむいふゆになりました。あたりいちめん、まっしろです。かわうそ3きょうだいのすえっこがさきにおきだしました。ひとりでたんけんにてかけます。ゆきやまをすべりだいにしてあそびました。こおつたみずうみでは、おおきなさかなにてあいました。あまりのおおきさに、すえっこはきょうだいたちをよびにいきました。
ばばばあちゃんの マフラー	さとう わきこ／文・絵	福音館書店	Iホ/サ	ばばばあちゃんは、かぜをひいたおつきさんに、マフラーをおくることにします。でも、おつきさんはとおいので、どうやってとどけたらいいのかわかりません。やがてきせつがめぐり、ばばばあちゃんのマフラーはいろいろなことにつかわれ、ぼろぼろになっていきます。さて、マフラーはぶじにおつきさんにとどくのでしょうか。
ほしをさがしに	しもかわら ゆみ／著	講談社	Iホ/ツ	ある冬の日、ねずみはながれぼしを見つけました。つぎの日のあさ、ねずみがそとに出るとみたことがない足あとを見つけました。きっとながれぼしがおちてきてはねていったとおもったねずみは、その足あとをおいかけます。とちゅうであったともだちみんなで足あとをおいかけてとんとんとすすんでいきます。ながれぼしはみつかるのでしょうか？
てぶくろがいっぱい	フローレンス・スロポドキン／文 ルイス・スロポドキン／絵	偕成社	Iホ/ス	ネッドとドニーはふたごです。ふゆのある日、ドニーが赤いてぶくろをひとつなくしてしまいました。てぶくろはすぐにともだちのジェイニーがとどけにきてくれました。ところがつぎからつぎに、赤いてぶくろがふたりのもとにとどくようになりました。ほんとうのもちぬしにかえそうと、ネッドがていあんしたのは…。
12つきのおくりもの スロバキア民話より	石井 睦美／文 メグ・ホソキ／絵	フレーベル館	Iホ/ホ	継母と姉のホレーナにいじめられながら暮らす美しいマルーシカ。寒い冬のある日、ホレーナに森ですみれをとってくるまで家に入れないと追い出されてしまいます。吹雪の中でもうだめかと思われたその時、たき火を囲む12人の男たちを見つけます。彼らは1月から12月までの季節をつかさどる「12つきの精」だったので。
しもばしら	細島 雅代／写真 伊地知 英信／文	岩崎書店	451	とてもさむい冬の朝、しもばしらがあったよ。しもばしらは、水が冷えて凍った、氷のなかま。土の中からしみでた水が、氷のつぶになって、下から上へどんどん凍ってのびていったものです。しもばしらは、日かげよりも、よく日のあたる地面のほうができやすい。どうしてかな？早起きして観察してみよう。

書名	著者	出版社	請求記号	内容
かわいいパリの ハンドメイド あみもの	イルドガルド・ドゥーソ／著	ほるぷ出版	594	フランス・パリからやってきたおしゃれなハンドメイドが紹介されています。ちょっと大人っぽくて、かわいいアイテムを自分で作ることができます。すぐに作れるハートモチーフやコースター、自分だけのオリジナルマフラーなど、むずかしい図面を使わずに作り方が説明されています。自分だけのオリジナルを作ってみませんか？
野菜で食育！ おいしいスイーツ 4 冬野菜でつくるお菓子	柿沢 安耶／著	岩崎書店	596	みんなの好きなスイーツはなに？この本では野菜を使って作るスイーツの作りかたをしょうかいしているよ。炒めたゴボウがナッツのような香ばしいブラウニー、きれいなグリーンのほうれん草蒸しパン。冬の野菜は糖分や栄養分をたくさんたくわえていてからだも喜びそう！さあ、いつもとちがった材料で作ってみよう。
やさしい行事のこうさく4 冬のこうさく12・1・2月	竹井 史郎／作	小峰書店	750	おうち時間でなにをしようかな？テレビを見たりゲームをするのもいいけど、おうちにあるもので工作をするのもいいね。この本はおうちでできる工作のアイデアがたくさんあるので、すきなものを作ってみよう。お正月やクリスマスにかんするものも作れちゃうよ。できたらそのままあそべるおもちゃもあるよ。冬休みはずっと楽しくなるね。
かこさとしあそびずかん ふゆのまき	かこ さとし／文・絵	小峰書店	781	ふゆにできるたくさんのおそびをしょうかいする本です。しぜんの中にあるものや、おうちの中にあるものでかんたんできるあそびがたくさんっています。とくべつなどうぐがなくてもじふんの体をつかった「かたうですもう」や「おしくらあそび」もあります。『からすのパンやさん』でゆうめいなかこさとしさんの絵でわかりやすくせつめいします。
ゆきの中の ふしぎなできごと	マージョリー・ワインマン・ シャーマット／ぶん マーク・シーモント／え 光吉 夏弥／やく	大日本図書	9-0/ヤ	ネートはじけんをかいけつするめいたんていです。かわった女の子、ロザモンドがネートにあげるたんじょう日プレゼントをなくしたので、さがしてほしいとやってきました。プレゼントがなになのかおしえてくれないけど、ママにおきてがみをして、さあ、しゅっぱつ！あいぼうの犬スラッジとさむいゆきの中へでていきました。
森は生きている	サムイル・マルシャーク／作 湯浅 芳子／訳	岩波書店	9-0/丸	気まぐれな女王が真冬に4月の花であるマツユキソウが欲しいと言い出す。褒美がほしい老婆とそのむすめは、まむすめにマツユキソウ探しを命じる。まむすめが吹雪の中、森の中に分け入ると、12の月の妖精たちが願いを叶えてくれる。スラブ地方の厳しい冬の様子や妖精たちとの出会いを楽しく表現した児童劇である。